

宇治にある「十三重の塔」



俗に「十三重の塔」と呼んでいますが、これは「魚霊塔」です。1286年西大寺の叡尊によって建立されました。その昔宇治川がよく氾濫したのは、魚を捕りすぎたからだとの反省から建てられたのです。高さは15m、我が国最大の石塔で重要文化財です。現在の塔は1756年に洪水で流出し、川底に沈んでいたものを1908年に発掘し再建したものです。

13重の意味は、死後初七日から三十三回忌まで13の諸仏によってあの世まで導かれるという仏教の教えに由来しています。

宇治に来られたら、是非この塔にもお参りをしてくださいね。

(記：太田佐知子会員)

{十三重の塔の所在場所}

「十三重の塔」は京都府宇治市の宇治公園の「塔の島」に所在する石塔です

